沖縄戦・原爆投下・シベリア抑留

連合国側が武器を持たない日本の民間人に対して行った戦時国際法違反の戦争犯罪。それら戦争の行為は全く無効でない。

戦時国際法と戦争犯罪

戦争の犠牲を少しでも減らすために、非戦闘員の殺傷などを禁じた戦時国際法のルール。
しかし、このルールはしばしば破られた。

戦時国際法の考え方
人類は長い歴史の中で国家や民族の利害の衝突から、絶え間なく戦争をくり返してきました。そこで、戦争のやり方を国際的に決めたルールの策定のもとに置かれます。このルールを戦時国際法といいます。1907年にオランダで締結されたハーグ条約国法は、その代表例です。

戦時国際法では、戦闘員以外の民間人を殺したり、捕虜となった敵国兵士や非武装の民間人に対し、不人道な殺害や虐待をおこなって大々的な戦犯を残しました。

沖縄戦の悲劇
1945年（昭和20）3月31日、アメリカ軍は大量爆撃をめいた戦争兵器を用いて、広大な日本本土を空襲してしまいました。米軍は空襲で多くの民間人が犠牲にされ、実権を失いました。
命令を受けたB29のパイロットは、それは国際法違反ではないかと司令官に言われた。それは問題を提起しています。東京大空襲では、一晩にして10万人が焼け死んでいます。

アメリカでは、20世紀の100大ニュースの中で第1位に「原爆投下」。第2位に「バール・ハーバー」（日本による珍珠港攻撃）が選ばれました。

ところが、アメリカの6割以上が「原爆投下は正しかった」と答えています（2009年調査）。その理由は、「戦争を早く終わらせるために必要だった」と「原爆投下をさとされなければアメリカ人100万人が命を落とすだろう」という理由のないものです。

シベリア抑留

8月9日、ソ連は日本との中立条約を無視して満洲に侵入し、日本の民間人にとして略奪、暴行、殺害を繰り返しました。しかし、満洲で60万人の日本人をシベリアに運行して、過酷な労働に従事させ、約6万人が死亡しました。

これに連合国間の責任を問うことは、一切、取られることはありませんでした。

20世紀最大の戦争犯罪

沖縄戦でも、本土への大都市攻撃で、多くの民間人が破壊されられて亡くなりました。

1945年3月の東京大空襲の際、攻撃命令を受けたB29のパイロットは、「それは国際法違反ではないか」と司令官に言われたとされています。東京大空襲では、一晩にして10万人が焼け死んでいました。

原爆投下による死者は、広島で約20万人、長崎で約7万人で、犠牲者は一般市民でした。原爆投下による被害の規模においても、20世紀最大の戦争犯罪といえるでしょう。
<table>
<thead>
<tr>
<th>号</th>
<th>田</th>
<th>行</th>
<th>原文</th>
<th>修正文</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>209</td>
<td>240</td>
<td>世界が見た大東亜戦争</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>太平洋戦争について一定の立場を十分に論じられていない。</td>
<td>次頁参照</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
世界が見た大東亜戦争

世界が見た大東亜戦争

追求され求められた防衛戦争

一方、戦争が進む中で求められた防衛戦争は、次のように理解されました。

アメリカのコネチカット州の歴史学者マーク・サルちゃん教授は、近日日本が発動した
大東亜戦争に対して日本を謂われていると考えられます。

「19世紀後半からの歴史を見れば、アジアは西側馬英勢力による分割に直面して
いた。日本にとって、周囲を見渡す、植民地化がひたすらと押し寄せているという
現状を、世界が認める歴史における一つのつらさと言える。」

韓国の日本研究者片岡廉は、さらに具体的にその経過を次のように書き
ました。

「大東亜戦争は決して日本から仕掛けたものではなかった（日本は）、平和的外交
交渉の失敗によって事態を打開しよう Prosperity と最後まで
取り締まった。最後はハルセルとつなげられ、戦争前の死を決しては、戦争
の死すべき」というもので、戦争の歴史であった。

戦争中、日本に協力した中国南京政府の
指揮下、汪精衛の夫人の汪精衛は、「大
地が日本と結んだことは間違っている。
もし、日本が新しい反乱者ととらえられ
を追い、戦争当時の苦労を忘れない。
と、日本を甘える」と述べました。

「19世紀後半からの歴史を見れば、アジアは西側馬英勢力による分割に直面して
いた。日本にとっては、周囲を見渡す、植民地化がひたすらと押し寄せているという
現実を、世界が認められる歴史になるとの
ことは、植民地化することが意味していた
のだ。この過程で、日本はアジアの国々
と欧米を同時に相手にするという単純不適
に陥った。」

ピルの元首のパー・モウは、「歴史的
に見るならば、日本はアジアを真に支配
から離脱させることに賛成した国はない。
しかし、日本ほど理解を受けていた国は
ない。もし日本が戦略的に行動をとらわれ
えた。戦争当時の苦労を忘れない。
と、日本を甘える」と述べました。

日本最新の歴史

日本の歴史学教授ウィリアム・レブ・ラは、次のように指摘しています。

「大東亜戦争は、西側馬英勢力の進出によって催生を受け
た日本が、自国の存続に関心を持った防衛
するための戦いであった。」
<table>
<thead>
<tr>
<th>原文</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>時代区分についての見解聞答</td>
</tr>
<tr>
<td>等新式の日本について説明するおそれのある各線である。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

| 修正文 |
| 次頁参照 |
時代区分についての兄弟宛告

この時代、日本はずっと戦争をしてた。

兄 二つの世界大戦を経験した。大変な時代だった。日本はいつも変わる立場で、みずから戦争を果たすことのない時代だった。

弟 でも、日本は「パールハーバー」に攻撃され、それに反対戦争を始めたんだ。

兄 日本は追い詰められた。ただかわなければならないように仕向けたんだ。

弟 どうして、かつて日本と戦っていたこともあるイギリスやアメリカとか、そんなに対峙したのかな？

兄 世界恐慌がこうやってから、どの国も生き残りが心配だった。殖民地の多い「持てる国」はブロック経済で生き残り、「持ちたる国」は商品と輸出のようであるが、高い関税を設けて、買ってこなくても、日本が生き残る道は、欧米の殖民地になっているからだ。豊かな資源を獲得することだった。

弟 だから、欧米は、日本を目の敵にしたんだ。

兄 自由貿易があたりまえになった今では、当時想像することは難しいと思う。当時の人の目隠しに見えないと、歴史を学んだことはならない。

期間比較の問題

次の二つの事項について比較して、その共通点を思い出そう。

（1）第一次世界大戦と第二次世界大戦
（2）共産主義とファシスム
（3）近代（Ⅰ）の時代と近代（Ⅱ）の時代

「ひとこと」作文

（1）近代（Ⅰ）の時代を学んで、どんなことが起こったのかを思い出そう。

近現代（Ⅰ）とは、ひとことで言うと、「O」の時代だ。

この「O」の中に、当てはまりそうな言葉を入れて、三百字程度の作文を書いてみましょう。

例 戦争 共産主義 民族解放

（2）今度は、「近代（Ⅱ）」100年について考えましょう。

近現代（Ⅱ）とは、ひとことで言うと、「O」の時代だ。

この「O」の中に、当てはまりそうな言葉を入れて、三百字程度の作文を書いてみましょう。

例 戦争 共産主義 民族解放

意見交換会

「世界が見た大東亜戦争」のコラムを読んでも、考えたことを出し合いましょう。

意見交換会

「世界が見た大東亜戦争」のコラムを読んでも、考えたことを出し合いましょう。
<table>
<thead>
<tr>
<th>項号</th>
<th>頁面</th>
<th>行</th>
<th>原文</th>
<th>修正文</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>211</td>
<td>242</td>
<td>3</td>
<td>「ニクサナラの要求」中、「日中共同の交渉の結果」</td>
<td>下線部 削除</td>
</tr>
<tr>
<td>212</td>
<td>242</td>
<td>3</td>
<td>「ワシントン会議」中、「日本は条約にのっとり国際協調に努めた。だが日英同盟が締結されたことは」</td>
<td>日本は条約にのっとり国際協調に努めた。だが日英同盟が締結されたことは</td>
</tr>
<tr>
<td>213</td>
<td>242</td>
<td>3</td>
<td>「満州国事件」中、「関東軍は日本公子民の保護を目的に」</td>
<td>関東軍は勢力範囲の拡大を目的に</td>
</tr>
<tr>
<td>214</td>
<td>244</td>
<td>6</td>
<td>連合軍総司令部</td>
<td>連合軍総司令部</td>
</tr>
<tr>
<td>215</td>
<td>245</td>
<td>13</td>
<td>「日本国憲法は、戦前の天皇をさらに国民主権をうたい…そのための効力をもたないと定めたことは、世界で他に例を見ないものとなった。」</td>
<td>日本国憲法は、天皇をさらに国民主権をうたい…そのための効力をもたないと定めたことは、世界で他に例を見ないものとなった。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>20</td>
<td>日本国憲法の基本原則について増補し難しい表現である。</td>
<td>⑵ 国民主権、基本の人権の尊重、平和主義を日本国憲法の三大原則とする。</td>
</tr>
<tr>
<td>番号</td>
<td>216</td>
<td>246</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>------</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>頁</td>
<td>246</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>行</td>
<td>(247)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

占領軍の検閲と東京裁判

...占領下的検閲及び裁判官に関して証拠するおそれのある表現である。

246頁2行目
歴史に偏在はありません。

246頁右8行目
占領軍は、占領直後から...

次頁参照

226頁10行目に注を追加。切り詰めに生活を余儀なくされた。
①. このことから、新聞や雑誌に対する検閲が強化された。
227頁注
①②③